

ボツワナ共和国月報(2023年9月)

主な出来事

【内政】

- 2024年総選挙に向け与野党で連立模索の動き

【外政】

- マシシ大統領、豪州を訪問
- マシシ大統領、バハマ、キューバ、ドイツを訪問
- マシシ大統領、第78回国連総会に出席
- クワペ外務大臣、シンガポール訪問
- ツオフワネ副大統領、ジンバブエ大統領就任式に出席
- 中国全人代常務委員会副委員長、ボツワナ訪問

【経済】

- 2024/2025年度予算戦略文書の公表
- 燃料小売価格の値上げ改定
- 8月インフレ率-インフレ率はさらに下落-
- 7月国際商品貿易統計-5ヵ月連続の貿易黒字-
- 2023年第2四半期GDP
- 2023年第2四半期電力統計
- 2023年第2四半期鉱業統計

【社会】

- 妊産婦死亡率に関する統計データの発表

【当館関連イベント】

- 株式会社ユニクロによるデュクイ難民キャンプへの引渡式典
- 日本理解促進のための図書寄贈式典

【内政】

- 2024年総選挙に向け与野党で連立模索の動き

国民議会選挙区が61に増加したため、政権確保に必要な議席数は31となったことを受け、与党ボツワナ民主党(BDP)及び最大野党連合民主改革のためのアンブレラ(UDC)は、2024年総選挙に向け、比較的小規模野党との連立体制を組む可能性がある。ボツワナ議会党(BCP)やボツワナ民主運動党(BMD)にとっては、政権に加わる好機となるため、連立を巡る駆け引きとみられる発言が見られる。

【外政】

- マシシ大統領、豪州を訪問

6日～8日、マシシ大統領は豪州のパースで開催されたアフリカ・ダウンアンダー(ADU)年次会議(豪州の対アフリカ関与プラットフォーム)に出席し、開会式にて基調講

演を行った。同大統領は、会議に先立ち、キャンベラにてハーレイ・豪州総督と会談した。また、ADU会議の傍ら、ボツワナ・豪州・ビジネスセミナーが開催された。

○ マシシ大統領、バハマ、キューバ、ドイツを訪問

12日～15日、マシシ大統領はバハマを国賓として訪問し、デイビス首相と会談した他、プラッタ・バハマ総督を表敬訪問した。また、バハマ大学にて「次世代のリーダーを育成するための民主主義の強化」をテーマに講義を行った。

15日～16日、同大統領はキューバで開催されたG77・中国首脳会議に出席した。

(その後の国連総会出席に続き)25日、同大統領はドイツで開催されたBrits & Pretzel Festivalに参加した。同イベントには各国の新興企業、起業家、投資家等が参加し、マシシ大統領は、「知識集約型経済に向けた未来都市の構築」をテーマに基調演説を行った。

○ マシシ大統領、第78回国連総会に出席

19日～23日、マシシ大統領はニューヨークにて開催された国連総会に出席し、32の内陸開発途上国(LLDCs)のグループ議長として、SDGsサミットにて演説を行った他、国連民間セクターフォーラムでは、SDGs達成のための民間資金の必要性を強調した。また、一般討論演説では、パンデミックへの対応、ウクライナ戦争等の世界的課題について言及するとともに、国連システムの活性化のため、緊急に行動する必要性を強調した。

○ クワペ外務大臣、シンガポール訪問

8月29日～31日、クワペ外務大臣はシンガポールを訪問し、シンガポール・サブサハラアフリカハイレベル閣僚交流に出席した他、シンガポール・ボツワナ外交関係樹立30周年記念行事をシンガポール外務大臣と共催した。また、同大臣は、シェンロン首相への表敬訪問、シンガポール公務員カレッジの職員との面会、アフリカ・シンガポールビジネスフォーラムへの出席等も行った。

○ ツォフワネ副大統領、ジンバブエ大統領就任式に出席

4日、ツォフワネ副大統領は、ムティムクル外務大臣代行とともに、ムナンガグワ・ジンバブエ次期大統領の就任式に出席した。

○ 中国全人代常務委員会副委員長、ボツワナ訪問

24日～26日、中国からの全人代常務委員会の代表団がボツワナを訪問した。代表団は国会議長と会談し、ツォフワネ大統領代行とムティムクル外務大臣代行を表敬訪問した他、ボツワナ大学の孔子学院等を視察した。

【経済】

○ 2024/2025年度予算戦略文書の公表

財務省は、次年度(2024/2025年度)予算戦略文書を公表した。同年度の予算重点事項は、輸出主導型バリューチェーン開発、インフラ投資、イノベーション、DX、レジリエンス、知識集約型経済投資、グリーン経済を掲げている。また、成果目標として、若者のスキル向上と再教育を通じた失業対策を掲げている。

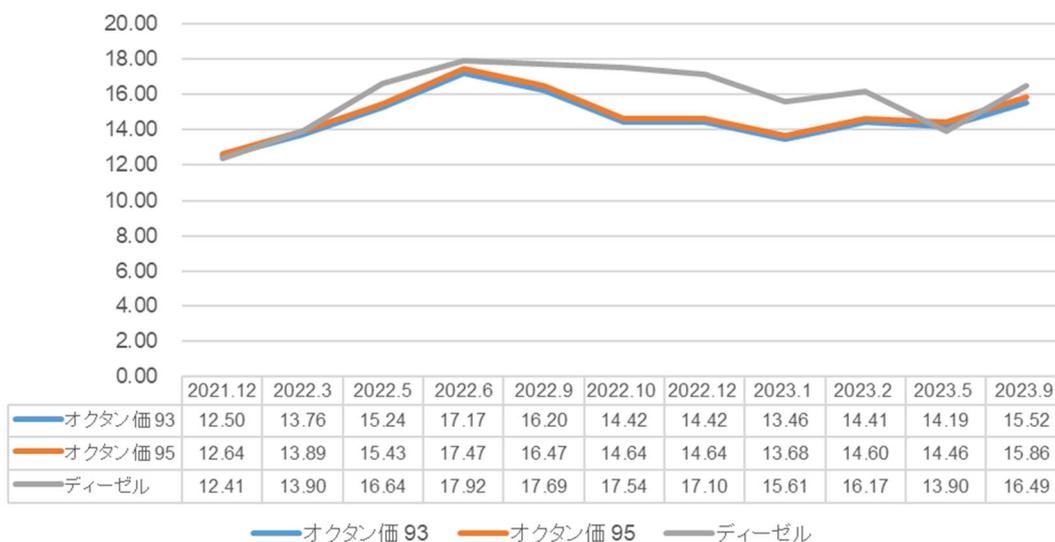
同年度の財務収支は50.87億プラの赤字を見込むものの、その後は、堅調な鉱物収入や各種税収によって歳入が増加し、2025/2026年は23.09億プラ、2026/2027年は69.08億プラの黒字を見込んでいる。

○ 燃料小売価格の値上げ改定

12日、ボツワナ・エネルギー規制庁は、前月の国際原油価格及び製油価格の上昇を踏まえ、燃料小売価格を以下のとおり値上げ改定した。新価格は翌日から施行。

品目	改定後の店頭小売価格（一部地域を除く）
ガソリン（オクタン価93）	15.52 プラ/リットル
ガソリン（オクタン価95）	15.86 プラ/リットル
ディーゼル	16.49 プラ/リットル

図：最近の燃料小売価格の推移：プラ/リットル



○ 8月インフレ率-インフレ率はさらに下落-

8月の年間インフレ率は1.2%で、前月の1.5%から0.3%下落し、前月に引き続き1%台となり、ボツワナ銀行の定める中長期インフレ目標(3%から6%)を2か月連続で下回った。分野別寄与度は、運輸(-2.3%)、食品・非アルコール飲料(1.2%)、雑貨・サービス(0.7%)であった。



○ 7月国際商品貿易統計-5か月連続の貿易黒字-

7月のボツワナの商品輸入額は68億9,740万プラで、前月の69億3,660万プラと比べ0.6%減少した。他方、同月の輸出総額は76億1,200万プラで、前月の75億8,700万プラから0.3%増加した。この結果、同月の貿易収支は7億1,460万プラの黒字となり、5か月連続の黒字となった。

(分野別内訳: 上位5分野(%))

	1位	2位	3位	4位	5位
輸入	燃料 20.8	食料品等 15.6	機械・電機 13.8	化学・ゴム製品 11.8	ダイヤモンド 10.9
輸出	ダイヤモンド 82.4	銅 8.1	機械・電機 3.6	塩・ソーダ灰 1.5	肉・肉製品 0.5

(国別内訳: 上位5か国(%))

	1位	2位	3位	4位	5位
輸入	南ア 66.7	カナダ 6.6	ナミビア 4.3	インド 3.9	ザンビア 2.7
輸出	UAE 26.9	ベルギー 16.1	香港 13.9	インド 13.5	南ア 11.0

○ 2023年第2四半期GDP

2023年第2四半期の名目GDPは、702億7,180万プラとなり、前四半期の669億4,130万プラから5.0%の増加となった。産業別寄与度は、鉱業・採石21.9%、公共・防衛15.5%、卸売・小売10.8%、建設10.1%、金融・保健・年金5.8%と続いている。

他方、同期実質GDPは、504億7,660万プラで、前四半期の523億140万プラ(改定値)から3.5%の減少となった。

○ 2023年第2四半期電力統計

第2四半期の発電量は、前四半期(2023年第1四半期)の発電量890,655メガワットから25.9%減少し660,349メガワットとなった。この低下は、モルプレB発電所の稼働に問題が生じたことによる。この国内発電量の減少により、電力輸入量は前四半期比で69%増加の464,603メガワットとなった。

図：過去10年間の電力統計(単位:メガワット)



○ 2023年第2四半期鉱業統計

第2四半期の主要鉱物の生産量は、前四半期比で、ダイヤモンドは15.3%の減少、銅(銅精鉱)の生産量は前四半期比で7.8%増となった(図)。

注)銅・ニッケル・コバルト溶融化合物(MATT)の生産量は2017年以降、ゼロ(N/A)となっており、統計局によれば鉱山の仮清算手続き中が理由であるとしている。

図：直近の鉱物別生産量

	ダイヤモンド (千カラット)	石炭 (トン)	金 (キログラム)	銀 (キログラム)	銅 (トン)	ソーダ灰 (トン)	塩 (トン)
2023年第1四半期	6,989	644,674	70	12,582	14,872	59,040	92,107
2023年第2四半期	5,922	470,878	105	11,720	16,027	45,502	71,781
2021年第1四半期	5,040	516,868	174	n.a.	n.a.	71,638	69,275
2021年第2四半期	5,827	485,642	186	n.a.	n.a.	57,962	101,776
2021年第3四半期	6,500	549,227	176	6,757	7,517	65,195	169,826
2021年第4四半期	5,329	469,481	113	3,626	4,225	67,043	143,751
2021年通期	22,696	2,021,218	649	n.a.	n.a.	261,838	484,628
2022年第1四半期	6,299	547,921	122	5,178	5,615	75,241	59,714
2022年第2四半期	5,576	599,474	150	7,542	8,237	61,647	54,124
2022年第3四半期	6,726	662,262	83	8,507	9,438	82,224	135,831
2022年第4四半期	5,878	651,211	71	9,947	10,911	66,103	73,634
2022年通期	24,479	2,460,868	426	31,174	34,201	285,215	323,303

【社会】

○ 妊産婦死亡率に関する統計データの発表

ボツワナ統計局は「2021年度版妊産婦死亡率にかかると報告書」を発表し、2021年度のボツワナ国内の出生数53,326件のうち、128件が妊産婦死亡であったことを報告した(出生数10万人当たり240人と推定)。同報告書では、妊娠や出産に伴う予防可能な原因で死亡する女性の割合が高いことに対して懸念が示された。なお、SDGsターゲットでは、2030年までに世界の妊産婦死亡率を出生数10万人当たり70人未満とすることを目標としている。

【当館関連イベント】

○ 株式会社ユニクロによるデュクイ難民キャンプへの引渡式典

6日、大森大使は、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）南アフリカ事務所及び同ボツワナ事務所の招待を受け、株式会社ユニクロが寄贈した衣料品の当地デュクイ難民キャンプへの引渡式典に参加した。ユニクロの衣料品約16,000点が同キャンプに寄贈された。

○ 日本理解促進のための図書寄贈式典

21日、当地バイサホ大学に対し、東京財団政策研究所（日本財団からの助成）が実施する「日本理解促進のための図書寄贈事業」（Read Japan Project）より日本に関する英文図書が寄贈され、同大学にて行われた引渡式典に、村井参事官が出席した。当地では、本事業を通し、これまで6つの大学・研究機関が寄贈図書を受け取っている。

（了）